

電機電子部会 北海道経済産業局との情報交換会の開催について

電機電子部会ではこの度、下記のとおり北海道経済産業局との情報交換会を開催いたしました。

記

1. 日 時：平成 28 年 5 月 23 日（月） 16：00～17：30
2. 場 所：札幌全日空ホテル 22 階「鈴蘭の間」
3. 出席者：北海道経済産業局 3 名、電機電子部会員 9 名、事務局 2 名
4. 内 容

前田部会長の挨拶の後、北海道経済産業局 製造産業課長 渡辺敏彦様より挨拶を頂きました。ものづくり白書によれば中小企業の業績改善しているが、人材問題、物流コスト上昇しており課題は多い。施策を活用し、事業拡大への投資と本日の「テーマ」でもある航空機分野、ロボット分野で北海道の経済を盛り上げて頂きたいと挨拶がありました。

今年度は国の施策の範囲が広く「テーマ」を決めての開催とし、

第 1 部 「NEDO の研究開発成果の実用化・事業化の支援事業」について

地域経済部 産業技術課 産学官連携推進係長 藤江 稔 様

ノーステック財団 常務理事 東川 敏文 様

第 2 部 「航空機部品市場新規参入」について

地域経済部 製造産業課 課長補佐 丹羽 朋子 様より資料に基づいて説明を受けました。

(1) 主な説明事項

- ・「NEDO ベンチャー・中小・中堅企業向け支援事業の紹介」について…

①産学官連携推進係長 藤江 稔 様

中小・中堅企業支援ツールのひとつで国の施策は早い為、テクノサポートカレンダーを確認し補助制度を活用願いたい。国のプロジェクトの金額は大きい為、日本の先端技術に貢献するなど全国的な競争力、技術的に高いレベルを求められハードル高いが、「中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業」、「戦略的基盤技術高度化支援事業(プロジェクト委託型)」、省エネ・新エネ関連等でチャレンジ願いたい。

②ノーステック財団 常務理事 東川 敏文 様

ノーステック財団の支援事業である基礎的・先導的研究支援事業、実用化・事業化支援事業、札幌型ものづくり開発推進事業等について説明いただいた。

- ・「航空機部品市場新規参入」について…製造産業課 課長補佐 丹羽 朋子 様

航空機産業政策の方向性、装備品分野における市場開拓、航空機産業参入のメリット、ハードルについて説明いただいた。自動車に続く、我が国の基幹製造産業としての発展が期待されるが、個々の企業にとって参入のハードル高く、新規参入を目指す北海道企業を応援したい。

(2) 意見交換

- ・国際航空宇宙展についての問合せについて、10 月 12 日～15 日東京ビックサイトで開催され、国内外の関連企業・団体を一同に集めて、トレード・情報交換等の促進を図ると共に、航空宇宙関連産業の振興と航空宇宙産業に対する国民の理解並びに、若年層の関心喚起等を目的としている。
- ・航空機部品市場新規参入事業に係る予算について質問あり、今年度 10 百万程度の申請試みたが不採択となっている。今後、小規模事業から立ち上げ、北海道、機械工業会と連携し取組んでいきたいと説明があった。

- (3) 情報交換終了後、懇親会を開催。 田上副部会長の乾杯で開宴、安保副部会長の中締めで閉宴。



前田部会長挨拶



北海道経済産業局 地域経済部 製造産業課長
渡辺敏彦様挨拶



情報交換会風景 懇



懇親会 田上副部会長挨拶